

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

・新型コロナウイルスの影響により活動の縮小が求められ、高齢者の閉じこもりは一層すすんでいる。心身の機能が低下している方も多い。身近な場所での集いの場の拡充だけでなく、介護予防活動の普及啓発のために新たなアプローチ方法が求められている。→様々なプログラムやアプローチ方法を検討し、個人や小規模単位でも継続、習慣化できるような取り組みが必要である。

・消費者被害は区内でも多い地区であり、今後も増える可能性が高い。→地域の金融機関との連携は強まっているが、被害防止の為、更に連携先を増やす必要がある。

・「8050問題」「高齢者虐待」等、解決困難な課題が増加。→各機関との連携ができつつある中で、早期の気づきに繋がるようケアマネジャーやサービス事業者、関係機関等が常に問題意識を持つ事が必要。

・交通の便がよい為、転居してくる地縁の薄い子育て世帯が増える可能性がある。→乳児、幼児、児童の各世代に合わせた地域に溶け込みやすい環境づくりが必要。

・地域特性として障がい者の作業所が多く、地域カフェなどの連携が始まっている。→各自治会町内会と障がい者施設の特徴に合わせ、お互いに支えあう関係づくりが必要。

今年度の重点的な取組

新規	継続	— 具体的な取組内容 —
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	身近に活動場所がなかったり、集えなかったりする時でも介護予防に取り組む事ができる様、資料、パンフレットの作成、配架、希望者への送付を行う。ホームページも活用しながら、その取り組みの普及を行う。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	虐待予防について居宅介護支援事業所やサービス事業者、地域住民、関係機関への普及啓発の実施
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	コロナ感染拡大防止に配慮しながら、ケアマネジャーと関係機関(民生委員や医療機関、障がい福祉関係機関)等との連携方法について検討していく。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	オンライン講座を活用し、多くの方がWeb会議ツール等を使用して講座に参加できるよう、使い方の啓発を行う。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	自治会町内会役員、地域のキーパーソンにコロナ禍での地域状況についてのヒアリングを行い、停滞している活動への支援及び新しい活動の創出について検討していく。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

昨年度から続くコロナ禍の影響で様々な事業で計画的に実施することが出来ない状況となっています。しかしながらその中においてもコロナの状況が落ち着いてきた時期から、介護予防や地域支援事業の活動が徐々に再開されてきています。相談支援では自宅への引きこもりや社会活動の制限等、日常生活の変化から健康や介護に関する相談件数も増えており、ケアプラザ内部や支援関係機関等との連携が更に求められています。令和4年度に向けては、新たな生活スタイルの中で、感染予防を図りながらケアプラザとしてできる取組みを増やし、事業活動及び地域支援を行っていきたいと思います。

区からのコメント

・感染症流行が長引き、地域住民の不安が強い中、Web会議ツールを活用した講座や会議、戸外での事業に取り組んでいます。引き続き感染症流行下でも継続可能な取組を充実させていただきようお願いします。

・ICTの活用にあたっては、使い方講座の後に実際に使用して受講する講座を開催するなど、受講者が学んだ内容を活かせるよう、しっかりと計画性を持って企画がされています。今後もなかなか先が見通せない状況が続くことが予想されますが、困難な状況の中でもケアプラザー丸となって知恵を出し合い、工夫して取り組んでいただきたいと思います。

・これまで障がい者作業所連絡会等で培ってきた関係性が活かされ、障がい者作業所がコロナ禍で物品販売等に苦慮している状況を把握し、地域の民間企業につなげることで問題解決に向けた具体的対応が早期に行えたことが評価できます。また、生活困窮者向けの支援も、地域と地域の民間企業を巻き込み計画をするなど、新たなネットワーク構築が進みました。

令和3年度横浜市鶴ヶ峰地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<p>(1)介護保険サービス利用の相談を受けた際に、相談者が幅広い選択肢の中から、居宅介護支援事業所やサービス事業所を選定できるように、旭区ケアマネジャー空き情報、ホームページ等で居宅介護支援事業所に関する情報を提供します。</p> <p>(2)年1回、地域ケアプラザにおける自己評価アンケートを実施し、自主事業参加者や介護予防支援利用者、地域包括支援センター相談者等から、公正中立な対応についての評価をいただき、事業運営に反映させています。</p> <p>(3)公正・中立の立場からの意見・調整を行う第三者委員制度を法人内に設置し、適切な苦情解決に繋がる体制を整備しています。</p>	<p>(1)法人で実施する個人情報保護・情報セキュリティ研修を職員が受講するとともに全職員に向け所内研修を実施します。</p> <p>(2)情報事故の起き易いデイサービスの記録書や連絡帳等の取り扱いは、ルールに則った上で必ずダブルチェックを行います。</p> <p>(3)郵送・FAX時もダブルチェックを行うとともに、個人書類の受渡しチェック表を活用し、いつ、誰が、何を、受け取り、渡したかが分かるようにします。</p> <p>(4)事故防止の為に危険予知訓練の研修を行うとともに、全体会議等で実際に発生した事故やヒヤリハットの振り返り、再発防止に向けての検討を行います。</p> <p>(5)事故に至らなかったヒヤリハットを所内で共有する事で同様の事故の防止に役立てます。</p> <p>(6)万一、事故や苦情が発生した際は、速やかに事実を確認し、当事者への謝罪や報告を行い、丁寧な対応を行います。同時に関係機関への報告も速やかに行います。</p>
実績	<p>(1)介護保険サービス利用の相談を受けた際には、相談者が幅広い選択肢の中から、居宅介護支援事業所やサービス事業所を選定できるように、旭区ケアマネジャー空き情報、ホームページ等で居宅介護支援事業所に関する情報を提供しました。</p> <p>(2)地域ケアプラザにおける自己評価アンケートを通して、自主事業参加者や介護予防支援利用者、地域包括支援センター相談者等から、公正中立な対応が行われている旨の評価をいただきました。</p> <p>(3)公正・中立の立場からの意見・調整を行う第三者委員制度を法人内に設置し、適切な苦情解決に繋がる体制を整備しました。</p>	<p>(1)法人で実施する個人情報保護・情報セキュリティ研修を職員が受講するとともに、全職員に向け所内研修を実施しました。</p> <p>(2)情報事故の起き易いデイサービスの記録書や連絡帳等の取り扱いは、ルールに則った上でダブルチェックを徹底しました。</p> <p>(3)郵送・FAX時もダブルチェックを行うとともに、個人書類の受渡しチェック表を活用し、いつ、誰が、何を、受け取り、渡したかが分かるようにしました。</p> <p>(4)事故防止の為に危険予知訓練の研修を行うとともに、全体会議等で実際に発生した事故やヒヤリハットの振り返り、再発防止に向けての検討を行いました。</p> <p>(5)事故に至らなかったヒヤリハットを所内で共有する事で同様の事故の防止に努めました。</p> <p>(6)事故や苦情が発生した際は、速やかに事実を確認し、当事者への謝罪、報告を行いました。また、関係機関へ速やかに報告しました。</p>

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職として誠意を持って業務遂行すると共に、公正中立な立場から支援をします。 ・常にお客様の立場に立ち、ご本人の意思及び人格を尊重すると共に、適切な介護予防計画の立案に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様のニーズに対し、早期対応の取れる体制づくりを目指します。 ・お客様、ご家族様に寄り添い、適切な支援を通じ、信頼性を構築します。
職員体制	保健師兼管理者1名(常勤兼務) 主任ケアマネジャー1名(常勤兼務) 社会福祉士2名(常勤兼務) 居宅介護支援専門員 4名(非常勤兼務1名専従3名)	管理者1名(常勤兼務) 居宅介護支援専門員2名(常勤専従) 2名(常勤兼務) 1名(非常勤兼務)

契約者数	242件	113件
------	------	------

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標	・お客様と介護者様、それぞれの思いを大切に、気持ちに寄り添う支援を行います。	・お客様がご自分らしく過ごせる環境と、介護者様が安心して介護を委ねられる場所を目指します。	
実施体制	【実施日数】332日 【提供時間】日～土(祝も含む) 9:30～16:30 【定員】 35名	【実施日数】330日 【提供時間】日～土(祝も含む) 9:30～16:30 【定員】 12名	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金・実費負担	昼食代 750円 当日キャンセル代 500円	昼食代 750円 当日キャンセル代 500円	
職員体制	管理者1名(常勤兼務)・相談員6名(常勤兼務)・看護職9名(非常勤兼務)・機能訓練指導員9名(非常勤兼務)・介護職27名(常勤兼務6名、非常勤兼務21名)・調理員8名(非常勤専従)・運転手9名(非常勤専従)	管理者1名(常勤兼務)・相談員6名(常勤兼務)・看護職9名(非常勤兼務)・機能訓練指導員9名(非常勤兼務)・介護職27名(常勤兼務6名、非常勤兼務21名)・調理員8名(非常勤専従)・運転手9名(非常勤専従)	
契約者数等	【延べ利用者数】 3329名 【契約者数】 98件	【延べ利用者数】 1244名 【契約者数】 13件	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和3年度「横浜市鶴ヶ峰地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	16,030,002	173,091	16,203,093	16,118,437	84,656	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0	80,300	△ 80,300	
雑入	0	0	0	36,965	△ 36,965	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	20,565	△ 20,565	
その他			0	16,400	△ 16,400	
その他	3,966,998		3,966,998		3,966,998	
収入合計	19,997,000	173,091	20,170,091	16,235,702	3,934,389	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,113,637	0	11,113,637	9,893,489	1,220,148	
本俸	8,800,000		8,800,000	6,646,019	2,153,981	
社会保険料	850,000		850,000	979,512	△ 129,512	
手当計	1,220,890		1,220,890	2,029,770	△ 808,880	
健康診断費	57,370		57,370	38,887	18,483	
勤労者福祉共済掛金	8,251		8,251	8,375	△ 124	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	172,438		172,438	183,563	△ 11,125	
その他	4,688		4,688	7,363	△ 2,675	
事務費	900,000	0	900,000	1,470,305	△ 570,305	
旅費	2,500		2,500	6,095	△ 3,595	
消耗品費	200,000		200,000	387,439	△ 187,439	
会議ठी費	0		0	0	0	
印刷製本費	89,000		89,000	100,839	△ 11,839	
通信費	265,212		265,212	239,639	25,573	
使用料及び賃借料	10,560	0	10,560	10,560	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	10,560		10,560	10,560	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	0	0	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	25,981		25,981	26,380	△ 399	
職員等研修費	70,000		70,000	4,102	65,898	
振込手数料	40		40	0	40	
リース料	218,707		218,707	68,390	150,317	
手数料	18,000		18,000	5,678	12,322	
地域協力費	0		0	8,750	△ 8,750	
その他	0		0	612,433	△ 612,433	
事業費	1,500,000	0	1,500,000	221,395	1,278,605	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	1,500,000		1,500,000	221,395	1,278,605	
その他			0		0	
管理費	4,898,000	0	4,898,000	7,534,282	△ 2,636,282	7534282
光熱水費	1,935,916		1,935,916	4,382,700	△ 2,446,784	
清掃費	1,842,566		1,842,566	1,740,531	102,035	
機械警備費	118,254		118,254	118,254	0	
設備保全費	1,001,264	0	1,001,264	1,292,797	△ 291,533	
空調衛生設備保守	302,261		302,261	302,261	0	
消防設備保守	49,273		49,273	49,273	0	
電気設備保守	331,539		331,539	331,539	0	
害虫駆除清掃保守	19,709		19,709	19,709	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	298,482		298,482	275,926	22,556	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	314,089	△ 314,089	
修繕費	474,000	173,091	647,091	562,435	84,656	予算:指定額
公租公課	1,111,363	0	1,111,363	0	1,111,363	
事業所税			0		0	
消費税	1,111,363		1,111,363		1,111,363	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	19,997,000	173,091	20,170,091	19,681,906	488,185	
差引	0	0	0	△ 3,446,204	3,446,204	

自主事業費 収入	0	0	0	80,300	△ 80,300	
自主事業費 支出	1,500,000	0	1,500,000	221,395	1,278,605	
自主事業 収支	△ 1,500,000	0	△ 1,500,000	△ 141,095	△ 1,358,905	

管理許可・目的外使用許可に関する収入	0	0	0	20,565	△ 20,565	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関する支出	10,560	0	10,560	10,560	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関する収支	△ 10,560	0	△ 10,560	10,005	△ 20,565	

*各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和3年度「横浜市鶴ヶ峰地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	29,365,000		29,365,000	29,216,495	148,505	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,802,000		5,802,000	4,945,320	856,680	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0	41,400	△ 41,400	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			2,418,000		2,418,000	
雑入	0	0	0	73,559	△ 73,559	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	20,559	△ 20,559	
その他			0	53,000	△ 53,000	
その他	2,418,000		2,418,000		2,418,000	
収入合計	37,739,000	0	37,739,000	34,430,774	3,308,226	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	33,975,000	0	33,975,000	29,267,552	4,707,448	
本俸	20,843,412		20,843,412	16,941,808	3,901,604	
社会保険料	3,367,526		3,367,526	3,855,140	△ 487,614	
手当計	9,077,310		9,077,310	7,588,978	1,488,332	
健康診断費	35,004		35,004	55,627	△ 20,623	
勤労者福祉共済掛金	27,749		27,749	32,875	△ 5,126	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	617,437		617,437	784,312	△ 166,875	
その他	6,562		6,562	8,812	△ 2,250	
事務費	480,720	0	480,720	1,922,762	△ 1,442,042	
旅費	10,000		10,000	28,070	△ 18,070	
消耗品費	100,000		100,000	398,216	△ 298,216	
会議滞在費	0		0	0	0	
印刷製本費	73,458		73,458	109,567	△ 36,109	
通信費	100,000		100,000	539,269	△ 439,269	
使用料及び賃借料	10,560	0	10,560	10,560	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	10,560		10,560	10,560	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	0	0	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	25,982		25,982	26,380	△ 398	
職員等研修費	40,000		40,000	44,863	△ 4,863	
振込手数料	320		320	0	320	
リース料	120,000		120,000	68,391	51,609	
手数料	400		400	608	△ 208	
地域協力費	0		0	28,750	△ 28,750	
その他	0		0	668,088	△ 668,088	
事業費	1,855,280	0	1,855,280	870,360	984,920	
協力医	630,000		630,000	504,000	126,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	750,000		750,000	191,336	558,664	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	151,219	2,781	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	321,280		321,280	23,805	297,475	予算：指定額
その他	0		0	0	0	
管理費	1,302,000	0	1,302,000	2,002,773	△ 700,773	
光熱水費	514,620		514,620	1,165,021	△ 650,401	
清掃費	489,795		489,795	462,672	27,123	
機械警備費	31,434		31,434	31,434	0	
設備保全費	266,151	0	266,151	343,646	△ 77,495	
空調衛生設備保守	80,345		80,345	80,345	0	
消防設備保守	13,097		13,097	13,097	0	
電気設備保守	88,128		88,128	88,128	0	
害虫駆除清掃保守	5,239		5,239	5,239	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	79,342		79,342	73,346	5,996	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	83,491	△ 83,491	
修繕費	126,000		126,000	103,495	22,505	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税			0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他			0	0	0	
支出合計	37,739,000	0	37,739,000	34,166,942	3,572,058	
差引	0	0	0	263,832	△ 263,832	

自主事業費 収入	0	0	0	41,400	△ 41,400	
自主事業費 支出	1,225,280	0	1,225,280	366,360	858,920	
自主事業 収支	△ 1,225,280	0	△ 1,225,280	△ 324,960	△ 900,320	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	20,559	△ 20,559	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	10,560	0	10,560	10,560	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 10,560	0	△ 10,560	9,999	△ 20,559	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和3年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 横浜市鶴ヶ峰地域ケアプラザ

令和3年4月1日～令和4年3月31日

(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			認知症通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	14,297	7,104	7,193	22,149	19,694	2,455	109,746	80,905	28,841	40,894	15,216	25,678
	その他	0	7,744	-7,744	889	1,147	-258	1,020	6,460	-5,440	5	3,300	-3,295
	事業・負担金収入		7,685	-7,685	889		889		5,200	-5,200		3,296	-3,296
	原案作成委託料			0		392	-392			0			0
	認定調査委託料			0		727	-727			0			0
	受託事業収入			0			0		133	-133			0
				0			0			0			0
	その他		59	-59		28	-28	1,020	1,127	-107	5	4	1
	収入合計(A)	14,297	14,848	-551	23,038	20,841	2,197	110,766	87,365	23,401	40,899	18,516	22,383
	支出	人件費	7,309	7,934	-625	20,559	20,201	358	80,379	85,874	-5,495	23,831	22,565
事務費		5,456	6,217	-761	1,530	2,027	-497	25,253	25,179	74	7,385	6,724	661
事業費													
管理費		0	0	0	0	0	0	8,309	6,355	1,954	2,197	1,202	995
その他		0	0	0	0	0	0	768	538	230	0	0	0
利用者負担軽減額				0			0		55	-55			0
消費税				0			0			0			0
介護予防プラン委託料				0			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
その他			0			0	768	483	285			0	
支出合計(B)	12,765	14,151	-1,386	22,089	22,228	-139	114,709	117,946	-3,237	33,413	30,491	2,922	
収支 (A)-(B)	1,532	697	835	949	-1,387	2,336	-3,943	-30,581	26,638	7,486	-11,975	19,461	

令和3年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	ママとベビーヨガ	平成29年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	①親子の心身の健康の維持 ②交流の場の提供、子育ての情報提供 ③親子のリフレッシュの機会の確保	3：養育者及び乳幼児		母親の健康維持やリフレッシュにも焦点を当てた親子ヨガ教室。	6	34
2	鶴ちゃん喫茶	平成24年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	①精神障害がある方々の仲間づくり支援 ②地域の作業所や民生委員等関係機関との連携	2：障害児・者		お話・交流会 毎月第1水曜日	9	42
3	カルチャー広場	平成13年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	①交流の場の提供 ②趣味活動の機会を作り、生活に意欲を持てるよう支援 ③ボランティアの育成	5：地域		・地域の方を対象に開催 ・講師を地域のボランティアの方に依頼し開催。	9	57
4	美文字講座	平成25年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	①ケアプラザ機能の周知 ②交流の場の提供 ③趣味活動の機会を作り、生活に意欲を持てるよう支援 ④ボランティアの育成	5：地域		美しいひらがな(地域住民)・・・6月 書初め(小学生対象)・・・12月	3	34
5	お母さんに感謝を込めてプレゼントを贈ろう	令和2年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	①交流の場の提供 ②趣味活動の機会を作り、生活意欲が持てるよう支援 ③ケアプラザ機能の周知	4：子ども・青少年		ハーバリウムの花瓶作り	1	10
6	お父さんに感謝を込めてプレゼントを作ろう	令和2年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	①交流の場の提供 ②趣味活動の機会を作り、生活意欲が持てるよう支援 ③ケアプラザ機能の周知	4：子ども・青少年		講師を近隣の障がい者地域作業所に依頼し、父の日に送るボールペン作り	1	7
7	ぼけっと共催事業 親子体操	平成30年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	①ケアプラザ機能の周知 ②子育ての不安、負担の減少 ③母親同士の仲間づくり支援 ④関係機関との連携	3：養育者及び乳幼児		体育協会に講師を依頼し、親子で出来る体を使った遊びを学ぶ	1	17
8	畠山重忠公史跡めぐり	令和3年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	①交流の場の提供 ②趣味活動の機会を作り、生活意欲が持てるよう支援 ③閉じこもり・介護予防	1：高齢者		・旭ガイドボランティアやウォーキングアドバイザーを講師として、地元ゆかりの「畠山重忠公」の史跡をめぐる ・6、10、11月に開催	3	35
9	離乳食講座	平成30年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	①食育 ②子育ての不安、負担の減少。 ③母親同士の仲間づくり ④相談機関としてのケアプラザの機能周知	3：養育者及び乳幼児		りぼんの会秋山管理栄養士に講師を依頼、6ヶ月～1歳の乳幼児を対象とした離乳食の講義、実際の作り方のデモンストレーションを行う。	1	7
10	ギャラリーA to Z	平成15年度	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	①ケアプラザ機能の周知 ②交流の場の提供 ③趣味活動の機会を作り、生活に意欲を持てるよう支援 ④ボランティアの育成	5：地域		・1F情報ラウンジに作品の展示 ・来館者の意見を聞き取り、次回の展示内容の参考となるよう努める	11	0
11	かるがもサロン	平成17年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	①親子の心身の健康の維持 ②交流の場の提供、子育ての情報提供 ③親子のリフレッシュの機会の確保 ④関係機関とのネットワーク作り	3：養育者及び乳幼児		コロナ禍の為サロンの開催に向けての打ち合わせを重ね、3月にパネルシアターや手遊びを主とした内容で再開となる。	7	67
12	ふれあいサロン	平成17年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	①交流の場の提供 ②健康の促進や維持 ③趣味活動の機会を作り、生活に意欲を持てるよう支援	1：高齢者		コロナ禍の為、太極拳プログラムのみに内容を絞り開催。 毎月第1・3・4 金曜日	9	158
13	えくぼ教室	平成26年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	①概ね2～4歳児の親子で、特に障がいがあると思われる幼児や育児不安の強い養育者への育児支援と発達援助 ②さまざまな経験の中で発達を促し、学習と交流の機会の場となるよう支援	3：養育者及び乳幼児		・福祉保健センターと連携実施 手遊び、リズム遊び、育児相談等 ・クリスマス等季節感を取り入れた特別プログラムを提供	36	418
14	語り部サロン	平成14年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	①意欲向上と自己表現の場 ②外出と交流の機会の開催 ③ボランティアの育成	1：高齢者		・参加者は絵本や民話を読み合い、昔を回想するなどコミュニケーションを図る。 ・ボランティアは高齢者の聞き役としてコミュニケーションの活発化を支援。	9	46
15	自治会・町内会アセスメント	令和3年度	3：生活支援体制整備事業	1：優先的に取り組み	①自治会・町内会の役員もしくはキーパーソンにヒアリングを行い、コロナ禍での地域状況、思いを聞き取る。 ②ヒアリングを行う中でコロナ禍でできる活動を検討していく。	5：地域		・地域の役員、キーパーソンと対面にてヒアリングを行う。 ・ヒアリング後も定期的に連絡を取り、状況等の確認を行う。	4	5
16	あさがお会	平成21年度	3：生活支援体制整備事業	2：発展させるねらい	・後方支援を行い、参加者の意識、自信を高め、次年度の自立へと繋げる。	1：高齢者		・年数回の旭区内の散策ウォーキングプランを立てつつ、仲間を増やしていく。	3	10

■ 事業 1: 地域活動交流事業 2: 地域包括支援センター運営事業 3: 生活支援体制整備事業 4: 共催 (1と2) 5: 共催 (1と3) 6: 共催 (2と3) 7: 共催 (1と2と3)			■ 事業の性質 1: 優先的に取り組みが求められる事業 2: 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1: 高齢者 2: 障害児・者 3: 養育者及び乳幼児 4: 子ども・青少年 5: 地域 6: 事業者 7: その他		
--	--	--	---	--	---	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
17	おしゃべりカフェつるがみね再開に向けて	令和元年度	3: 生活支援体制整備事業	2: 発展させるねらい	①令和3年10月ごろを目安として再開に向けて打ち合わせを行う。 ②再開に向けての必要な情報提供を行う。	1: 高齢者		・月1回の打ち合わせを実施し、担い手のモチベーション、必要性の理解を高めていく。 ・10月の再開に向けての準備を行っていく。	5	15
18	中田カフェ再開に向けて	平成30年度	3: 生活支援体制整備事業	2: 発展させるねらい	・再開に向けて必要な情報提供を行う。	1: 高齢者		・担い手のモチベーション、地域のタイミングを見ながら情報を提供し、再開に繋げていく。	0	0
19	川島町南町内会健康カフェ	令和元年度	3: 生活支援体制整備事業	2: 発展させるねらい	①コロナ禍での運営支援 ②段階を踏みながら交流・健康・介護予防の場として再開できるようにしていく。	1: 高齢者		・生活介護事業所ミコミの屋外スペースを利用しての交流 ・管理栄養士による栄養相談 ・介護予防体操	7	98
20	鶴ちゃんページ更新	平成29年度	3: 生活支援体制整備事業	1: 優先的に取り組み	①地域住民、団体の意思を確認し、コロナ禍において必要な情報を地域に届けていく。 ②認知症予防、介護予防、孤立予防のきっかけに繋げていく。	5: 地域		・鶴ヶ峰地区の金融機関、医療機関、カフェ等に設置。地域住民に広く見てもらえるようにする。 ・居宅介護支援事業所に配布し、ケアマネジャーとの連携に努める。	10	49
21	介護者カフェ「カフェらん」	平成28年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	・安心して介護者の抱える感情を表出できる場として開催します。 ・介護者相互情報交換をしていきます。 ・介護者の休養やリフレッシュおよび役立つ社会資源の提供をしていきます。	7: その他		・介護者や介護者OBを中心に、介護者カフェを開催。茶話会、情報交換、勉強会を実施。 毎月第4水曜日 年12回	10	14
22	鶴ちゃんコール	平成29年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	・一人暮らしの方や福祉サービスに繋がっていない方に対しての見守りを目的とします。 ・地域福祉関係者等により、見守り電話を行い、ネットワーク構築を図ります。	1: 高齢者		・月2回の見守り電話の実施 毎月第2・4火曜日	22	184
23	さくら会	平成21年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	・地域の仲間作りと交流の場の提供 ・フレイル状態、介護状態を予防し、健康寿命を延ばすための栄養の知識と実践について学ぶ場の提供	1: 高齢者		・管理栄養士による講義、実践 毎月第3水曜日 年12回	11	60
24	コグニサイズを学ぼう	平成29年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	・地域の仲間作りと交流の場の提供 ・認知症について正しい知識と予防について学び、実践できる場の提供 ・介護予防に役立つ脳と体の運動と実践について学ぶ場の提供	1: 高齢者		・運動指導士による講義、実践(コグニステップ、コグニラダー、コグニウォーク等) 毎月第1月曜日 年12回	10	72
25	みな元気旭グループ活動支援	平成22年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	・みな元気旭グループを対象とした、グループ活動継続の支援	5: 地域		・ひまわり会(西川島町西町内会館)、鶴ヶ峰本町いきいき生活講座(鶴ヶ峰本町会館)、小三長寿ランドゴルフ部(梶谷公園)の支援	10	91
26	元気づくりステーション活動支援	令和2年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	・元気づくりステーションを対象とした、グループ活動継続の支援	5: 地域		・梶谷公園健康クラブ(梶谷公園)、ローズサークル(県営鶴ヶ峰アパート集会所)の支援	3	62
27	つるがみね健康教室	令和2年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	・地域の仲間作りと交流の場の提供 ・健康寿命を延伸し、運動、口腔、栄養をはじめとした、介護状態を予防するための知識と実践について学ぶ場の提供	1: 高齢者		・運動指導士、管理栄養士などを中心とした専門職を講師に招いた講座を実施。 毎月第2(もしくは第4)木曜日 年12回	10	82
28	介護予防カレンダー	令和2年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	・健康寿命を延伸し、介護状態を予防するための活動の普及啓発・促進 ・ケアプラザや地域で開催される介護予防事業への参加・継続の意欲の促進	1: 高齢者		・ケアプラザで開催される介護予防事業をカレンダーとして一覧にし、事業参加者や地域の高齢者に配布する 年12回 発行	12	360
29	介護予防活動グループ活動支援	令和2年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	・地域の介護予防活動グループを対象とした、グループ活動継続の支援	5: 地域		・介護予防活動を行っているグループに対し講師を派遣しての講座の開催 ・介護予防活動グループ連絡会の開催	6	78
30	はじめてのプログラミング講座	令和3年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	①夏休みの居場所作り ②ネット環境の普及啓発 ③ケアプラザ機能の周知	4: 子ども・青少年		・プログラミングの仕組みを知る。 パソコンや、キーボードに触れる機会を提供し、夏休みの自由課題の機会にできるような支援する 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、中止となる	0	0
31	ZOOM講座	令和3年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	①オンライン環境の普及啓発 ②ケアプラザ機能の周知 ③ボランティアの育成 ④交流の場の提供	5: 地域		10月以降開催を予定している、ZOOMを使用したオンライン講座開催の為に準備として実施。	3	15
32	鶴ヶ峰地域ケア部への活動継続支援	令和3年度	3: 生活支援体制整備事業	2: 発展させるねらい	地域ケア部の後方支援を行い、人材の充足、ニーズの確認、支援を行っていく。	5: 地域		地域の企業との連携支援を行い、鶴ヶ峰地域ケア部の活動を充足することが出来る。	2	9

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）	■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
33	認知症をみんなで支えるまちづくり検討会@鶴ヶ峰地域ケアプラザ（地域活動交流共催事業）	平成24年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを地域の方々と考え取り組む。	5：地域	6	・地域の保健福祉団体の関係者や金融機関、事業所等が検討委員となり、一緒に具体的な施策を検討。	1	21
34	アルツハイマーデー街頭キャンペーン	平成25年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	・関係機関と共に地域住民へ認知症の啓発活動と相談窓口の周知をする。	5：地域		・医療機関、SOS協賛店の薬局を中心に、地域住民へ認知症の啓発活動のためのポスターを掲示依頼。	1	14
35	百人一首を通じて美しい文字を学びましょう	令和3年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	①ケアプラザ機能の周知 ②交流の場の提供 ③趣味活動の機会を作り、生活に意欲を持てるよう支援 ④ボランティアの育成	5：地域		百人一首を通じて美しいひらがなの書き方を学ぶ。	6	35
36	認知症サポーター養成講座	平成23年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	①・地域で認知症の方やその家族を支え、誰もが暮らしやすい地域づくり ②・認知症について理解の啓発	5：地域		12月2日 鶴ヶ峰小学校 3年生 旭区ひまわりの会に講師を依頼し、講座を開催する	3	95
37	鶴ヶ峰小学校3年生 福祉教育	平成23年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	①ケアプラザ機能の周知 ②福祉教育プログラムの提供 ③高齢者や障がい者への正しい理解の啓発	7：その他		・7月：ケアプラザ機能についての紹介 ・12月：認知症サポーター養成講座 通所介護での交流プログラム	9	294
38	旭区地域生活支援フォーラムサテライト上映会	令和3年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	①障害理解 ②zoomによる講座開催のニーズ把握 ③鶴ヶ峰地区地域福祉保健計画の推進	5：地域		多目的ホールを会場とし、zoom機能を活用した上映会の開催	1	31
39	鶴ヶ峰写真館	令和3年度	3：生活支援体制整備事業	1：優先的に取り組み	コロナ禍での新たな地域住民の活躍、啓発の場として周知していく。	5：地域		10月～12月 障がい者作業所の現在 1月～3月 地域住民による昔の写真	1	50
40	鶴の会議	令和3年度	3：生活支援体制整備事業	1：優先的に取り組み	・第1～4の鶴の会が顔の見える関係性を構築し、連携体制が出来るよう支援する。 ・鶴ヶ峰地区支えあい連絡会と繋がっているよう調整していく。 ・コロナ禍での活動支援	1：高齢者	5	10月 第1回鶴の会議開催 ・コロナ禍での各鶴の会の活動について 3月にも開催予定	1	6
41	街頭オレオレ詐欺撲滅キャンペーン	平成25年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	・消費者被害防止の為の普及啓発 ・相談窓口（地域包括支援センター・横浜市消費生活総合センター）の周知 ・消費生活推進員、金融機関、旭警察署との連携	5：地域		・年々支給月10月以降、消費生活推進員、関係機関と共に地域住民へ消費者被害防止のため啓発ポスターの掲示（100か所）、鶴ヶ峰連合全戸回覧（900部）。 ・鶴ヶ峰エリアの全ての金融機関5か所のATM、障害作業所や理容店全11か所にポスター掲示、QRコードにて、詐欺対策	1	100
42	終活講座	令和元年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	・終活についての必要な知識について普及啓発 ・旭区版エンディングノートの普及啓発 ・地域包括支援センター社会福祉士の役割の周知	5：地域		・11月27日 葬儀社の方を講師に、「最新の葬儀事情」についての講座を会場とZOOMを使い、ハイブリッド開催	1	13
43	自宅deオンラインフィットネス	令和3年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	①運動の機会の提供 ②オンライン環境の普及啓発 ③ケアプラザ機能の周知	5：地域		zoomを使用したフィットネス講座 令和4年2月1日に実施を予定するも、申込者無く中止となる。	0	0